

各位

～貸切バス・空港バス・高速バスの全車両の機器を更新！～ ドライブレコーダー搭載クラウド型デジタルタコグラフの導入について

遠州鉄道株式会社(本社:浜松市中区旭町、社長:斉藤薫)では、2018年11月より、貸切バス・空港バス・高速バスの全車両に「ドライブレコーダー搭載クラウド型デジタルタコグラフ」を順次導入してまいります。最新のクラウド技術と高速ネットワークによる迅速な情報取得により、運行管理・労務管理のさらなる強化を図り、今まで以上に「安心」・「安全」・「快適」なご旅行をお客様にご提供いたします。

詳細は下記の通りとなりますので、ご案内方、お取り計らいの程、宜しくお願ひ申し上げます。

記

1. 導入機器 (国土交通省基準対応)

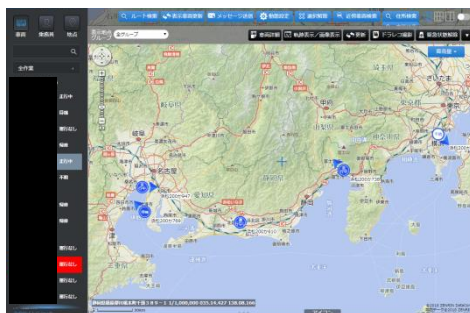
ドライブレコーダー搭載クラウド型デジタルタコグラフ「DTS-D1D」(株式会社トランストロン)
<http://www.transtron.com/products/dts-d1d.html>

2. 機器の特徴と導入のねらい

- (1) デジタル式運行記録計対応基準および貸切バスにおけるドライブレコーダー性能要件告示適合機器として認定済み
- (2) 遠隔地でも車両位置や車載カメラの映像をリアルタイムで受信可能
- (3) 異常イベント発生時に運行管理者のパソコンに警告を随時表示
- (4) 連続運転時間や休憩時間管理機能を搭載

上記により、今まで以上に迅速な運行状況の把握や労務管理の強化が可能となり、運行管理者の的確な指示のもと「安心」・「安全」・「快適」な旅行をご提供いたします。

WEB上で現在の車両位置を表示



LTE通信により車両映像を即時に取得可能



3. 投資額と搭載予定車両数

総投資額: 約 67,000 千円 (ネットワーク環境構築費用等含む)

- ・貸切バス全車両 141 両 (2019年11月までに搭載完了)
- ・空港バス全車両 15 両 (今年度までに搭載完了)
- ・高速バス全車両 9 両 (今年度までに搭載完了) ※2018年10月末時点保有車両数で記載

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

遠州鉄道株式会社 運輸業務部 管理課 課長: 中野 / 担当: 玉木
TEL053-454-2215 (月～金 ※祝日除く)